Exhibition Schedule 2020.4-2021.3

4 Apr.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

「新収蔵品展」
4月7日[火]－5月31日[日]

5 May

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6 Jun.

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念
きらめく日本画」
6月30日[火]－7月12日[日]

7 Jul.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 Aug.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	△8
9	10	11	12	13	14	△15
16	17	18	19	20	21	△22
23	24	25	26	27	28	△29
30	31					

「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念
富士山をめぐる」
7月14日[火]－8月16日[日]

「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念
激突！ 東西の狩野派」
8月18日[火]－9月13日[日]

9 Sep.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10 Oct.

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

「曽宮一念とその時代」
9月15日[火]－11月15日[日]

11 Nov.

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

「耳をすませて―音と楽器のある風景」
11月17日[火]－2021年1月24日[日]

12 Dec.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1 Jan.

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 Feb.

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 Mar.

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

「日本戦後美術の挑戦」
2021年1月26日[火]－4月4日[日]

Calendar

○休館日　△夜間開館

ガラスの天井から光がふりそそぐロダン館。近代フランスの彫刻家オーギュスト・ロダンの作品32点のほか、ロダン以前の代表的な作家による彫刻を展示しています。本館とロダン館をつなぐブリッジ・ギャラリーとともに、西洋の近代彫刻51点を常時鑑賞できます。

開館時間　10：00―17：30（展示室への入室は17：00まで）

夜間開館　8月8日［土］、15日［土］、22日［土］、29日［土］ 10：00―19：00
（展示室への入室は18：30まで）

休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館。ただし、9月23日［水］は休館。5月7日［木］、8月11日［火］、11月2日［月］は開館。）
年末年始、その他展示替等のための休館日

観覧料
単位／円

展覧会名	一般 当日	一般 前売・団体	70歳以上 当日	70歳以上 前売・団体	高校・大学生 当日	高校・大学生 前売・団体
開校100年　きたれ、パウハウス	1,000	800	500	400	無料	無料
美の競演――静岡県美名品展	300	200	無料	無料	無料	無料
みんなのミュシャ	1,400	1,200	700	600	700	600
富野由悠季の世界展	1,200	1,000	600	500	無料	無料
パラレル・ヒストリーズ	800	600	400	300	無料	無料
ムーミン展	1,300	1,100	700	600	700	600
収蔵品展	300	200	無料	無料	無料	無料

団体は有料観覧者20名以上。企画展ご入場の方は、収蔵品展・ロダン館も併せてご覧いただけます。
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は、企画展・収蔵品展ともに無料でご覧いただけます。

実技室イベント

さまざまな体験プログラムを実施しています。
スケジュールはホームページまたはパンフレット「実技室プログラムのしおり」をご覧ください。

無料託児サービス

毎週日曜日、4/29（祝）、5/5（祝）にご利用いただけます（10:30―15:30）。対象は、乳・幼児（6ヶ月～小学校就学前）です。

車椅子・ベビーカー

インフォメーションで無料貸出いたします。

ミュージアムショップ

展覧会カタログ、美術図書、ミュージアム・グッズ等をお求めになれます。

レストラン

喫茶、お食事が楽しめます。美術鑑賞のあいまにお立ち寄りください。

友の会

常時入会受付中。詳しくは事務局にお問い合わせください。
Tel. 054-264-0897

交通案内

JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分または北口から静鉄バスで約30分
JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分または静鉄バスで約20分
静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分または静鉄バスで約3分
東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分。
周辺に大型バスを含めて約400台を収容できる無料駐車場があります。

お問い合わせ

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2　http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp
総務課　Tel. 054-263-5755　Fax. 054-263-5767
学芸課　Tel. 054-263-5857　Fax. 054-263-5742

Information

表紙：狩野雅信《花鳥図》（部分）（2019年度新収蔵品）

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

開校100年　きたれ、バウハウス ――造形教育の基礎――

4月11日［土］―5月31日［日］

左：製図の授業（ロッテ・ベーゼ）
制作年不詳
ミサワホーム株式会社蔵
右：ヘルベルト・バイヤー
（表紙デザイン）
『ヴァイマール国立バウハウス 1919–1923』1923年バウハウス展展覧会カタログ　バウハウス出版 1923年　ミサワホーム株式会社蔵
© VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2019 E3618

ドイツの古都ヴァイマールに、建築家ヴァルター・グロピウスにより創設された造形学校「バウハウス」。2019年にバウハウスが開校100年を迎えたことを機に企画された本展では、学校としてのバウハウスに焦点をあてます。入学した学生が最初に受ける基礎教育で、カンディンスキーやクレーといった教師たちが行った授業内容を紹介するほか、基礎教育終了後に進む工房（金属、陶器、織物、家具、印刷・広告、舞台、建築など）での教育の成果や資料など約300点を展示します。さらに、日本人留学生、水谷武彦、山脇巌、山脇道子、大野玉枝の4人の作品・資料を一堂に集め、バウハウスと日本のつながりを紹介します。

東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念

美の競演――静岡県美名品展

6月13日［土］―6月28日［日］

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を記念し、当館の所蔵品、寄託品から、珠玉の名品を展示します。14日間限定の祝典をどうぞご堪能下さい。

クロード・モネ
《ルーアンのセーヌ川》

伊藤若冲《樹花鳥獣図屏風》（右隻）※この作品は、収蔵品展「きらめく日本画」でも引き続き展示されます。（展示期間6月13日～7月12日）

みんなのミュシャ　ミュシャからマンガへ――線の魔術

7月11日［土］―9月6日［日］

アルフォンス・ミュシャ
《舞踏―連作《四芸術》より》
1898年　カラーリトグラフ
ミュシャ財団蔵　©Mucha Trust 2020

アルフォンス・ミュシャ
《モナコ・モンテカルロ》
1897年　カラーリトグラフ
ミュシャ財団蔵　©Mucha Trust 2020

いわば「線の魔術」の生み出す繊細で華麗な作品でアール・ヌーヴォーの時代を彩った芸術家、アルフォンス・ミュシャ（1860―1939）。そのスタイルは「ミュシャ様式」と呼ばれ、後世のアーティストに影響を与え続けています。ミュシャ財団監修により企画された本展は、ミュシャの作品はもとより、その影響を受けた明治の文芸誌挿絵、1960―70年代のイギリス・アメリカのグラフィック・アート、日本のマンガ家やイラストレーターの作品なども加え、およそ250点で今日まで受け継がれるミュシャ様式の流れを辿ります。

富野由悠季の世界展

9月19日［土］―11月8日［日］

「鉄腕アトム」の演出でデビューし、「機動戦士ガンダム」、「伝説巨神イデオン」、「聖戦士ダンバイン」といった多くの記念碑的作品を送り出してきたアニメ監督・富野由悠季。本展はその半世紀以上にわたる仕事を振り返る初の展覧会です。富野はそれまでのロボットアニメでは常識とされてきた勧善懲悪のストーリーを退け、リアリティを備えたメカニックやキャラクターを通じてシリアスな人間ドラマを描き、このジャンルを大いに発展させました。今なお発展を続ける富野アニメの世界を、直筆絵コンテや、クリエーターたちのデザイン画、原画、セル画などの原資料を元に検証します。

「機動戦士ガンダム」
©創通・サンライズ

パラレル・ヒストリーズ　現代アートの諸潮流

11月21日［土］―2021年1月11日［月・祝］

現代アートと呼ばれている表現領域では、次々と新しい傾向が生まれ、多種多様な表現があふれています。絵画や立体作品、テクノロジーを駆使したものなど、芸術家の発想によって新しい地平が開かれてきました。本展では、「パラレル・ヒストリーズ　現代アートの諸潮流」と題して、目まぐるしく展開してきた現代アートの作品を、6つのテーマを設けて展示構成し、当館コレクションにより戦後以降の美術史を概観します。当館ではこれまで現代アート作品を収集してきましたが、それらをまとまった形で展覧するのは16年ぶりとなります。この機会に、現代アートの豊かな表現を改めて感じていただければ幸いです。

中村宏《早来迎機・2》（2019年度新収蔵品）

ムーミン展　THE ART AND THE STORY

2021年1月23日［土］―3月14日［日］

愛らしい姿とユーモアあふれる言葉で世界中のファンを魅了するムーミンとそのなかまたち。フィンランドを代表する芸術家、トーベ・ヤンソン（1914―2001）が生みだした「ムーミン」シリーズは、小説、絵本、新聞連載コミック、アニメ、商品などさまざまなかたちで親しまれています。本展は、その多彩なアートと奥深い物語の魅力を、約500点のムーミンの展示品で体感できる展覧会です。フィンランド・タンペレ市にある世界で唯一の「ムーミン美術館」所蔵の作品や、トーベが最後まで手元に残しておいた貴重なコレクションも紹介します。

トーベ・ヤンソン《イースターカード　原画》
1950年代　グワッシュ、インク・紙　ムーミンキャラクターズ社
© Moomin Characters™

収蔵品展

1 白井嘉尚《シャーベットのように》

2 横山大観《群青富士》（右隻）※この作品は、「美の競演―静岡県美名品展」でも展示されます。（展示期間6月13日～7月12日）

5 曽宮一念《種子静物》

3 大岡雲峰《日金山富嶽眺望図》

6 二見彰一《弦のアリア》

4 狩野永岳《富士山登龍図》

7 伊藤隆史《壁ノ鳥》

1.「新収蔵品展」
4月7日［火］―5月31日［日］

2.「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念　きらめく日本画」
6月30日［火］―7月12日［日］

3.「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念　富士山をめぐる」
7月14日［火］―8月16日［日］

4.「東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念　激突！東西の狩野派」
8月18日［火］―9月13日［日］

5.「曽宮一念とその時代」
9月15日［火］―11月15日［日］

6.「耳をすませて―音と楽器のある風景」
11月17日［火］―2021年1月24日［日］

7.「日本戦後美術の挑戦」
2021年1月26日［火］―4月4日［日］

静岡県立美術館の収蔵品を中心とする展覧会を、次の会場でご覧いただけます。

沼津市民文化センター
10月22日［木］―11月3日［火・祝］

焼津文化会館
11月10日［火］―11月25日［水］